

2010年1月13日

ロシア関連メモ 024

国際公共政策研究センター
主任研究員 神野

ロシア:2010年自動車産業振興プロジェクト

2009年12月のモスクワ訪問時に面談したロマキン大統領府調査分析局長は、ロシア政府として国内自動車産業振興を極めて重視しており、2010年2月に自動車産業の発展戦略に関する公式文書を策定する計画を明らかにした。

同時に、ロシア政府は他国政府と同様新車購入を促進するための需要刺激策を決定してきたが、ある程度効果が上がったのは60万ルーブルを上限とする自動車ローンの金利の補助措置のみであること、2010年初めから新車買替えの際に価格を割引く追加措置が発効する予定であることも明らかにした。

ロシア政府は09年12月30日に『2010年ロシア連邦政府危機対策ガイドライン』(ОСНОВНЫЕ НАПРАВЛЕНИЯ АНТИКРИЗИСНЫХ ДЕЙСТВИЙ ПРАВИТЕЛЬСТВА РОССИЙСКОЙ ФЕДЕРАЦИИ НА 2010 ГОД)を決定したが、その中で「国内需要刺激策」の1項目として「国内メーカーの新車買替え補助金として110.5億ルーブルを計上し、補助金額上限を50,000ルーブルとする」旨の方針が打ち出した。

その具体的内容として昨日ロシア産業貿易省から公表されたプログラムの内容は以下のとおり。

- ・ プログラムは2010年3月8日から開始される。
- ・ 1999年以前に生産された重量3.5トン以下の国産車で、同一のオーナーが1年間以上保有している車を新車に買い替える際に50,000ルーブル(約1,700ドル)のバウチャーを支給する。
- ・ そのための2010年予算措置額は100億ルーブル(約3億4,000万ドル)で、2010年に20万台を対象とする。
- ・ バウチャーの対象はVAZ、Lada、GAZ、UAZのロシアの自動車メーカー及びロシア国内の組み立てプラントで完成車を生産する外国メーカーの車でスクラップ基準を満たすもの。60～65モデルが該当。
- ・ 政府公認ディーラーが買替対象車の登録を抹消した上でリサイクルセンターに運搬し、確認のうえバウチャーを発行する。ディーラーに対し1台につき3,000ルーブルの運搬費を補助する。予算額10億ルーブル。

政府はこのプランを「実験的プロジェクト」と位置づけており、3月8日からの施行状況を踏まえて9月にプランの見直しを行う予定。

プログラムの実行により自動車買い替え需要喚起のほか、旧式の環境負荷の高い車から新型のエコ車への切り替えやロシア国内で大きな問題となっている交通事故の削減という効果も期待されている。

プーチン首相は1月11日のフリステンコ産業貿易大臣との会談においてこのプログラムについて「ロシアではこのようなプロジェクトはこれまで行ったことがないので、非常に実験的な試みであるといえる。ロシアには自動車をリサイクルする設備も運搬ファシリティもない。そのための財政的問題、官僚的問題もある。」と問題点を指摘した。

これに対しフリステンコ大臣は、本件プロジェクトの最大の問題点は廃棄される自動車のリサイクルセンターのネットワーク建設であるとして、現在ロシア国内にこのプログラムの基準を満たしうるリサイクルセンターは15しかないことを明らかにした。

国内自動車メーカーの国際競争力強化に取り組む前提として、国内における自動車廃棄に関する環境保全や道路、駐車場等のインフラ建設等解決すべき問題が多い。

以上